

# 安保破棄ニユース

No. 518  
2020. 6. 12

## 安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0004 大阪市天王寺区玉造元町一七一三  
TEL 〇六-六七六三-三三三三  
FAX 〇六-六七六三-三八三六  
Eメール [ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp](mailto:ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp)  
ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>



第13回沖縄県会議員選挙が6月7日投票で行われました。この選挙は、辺野古新基地建設反対を掲げ、「建白書」実現を目指す玉城デニー県政を支える「オール沖縄」与党の勢力を前進させることを目指し闘われました。

新型コロナウイルスの問題があり、直接沖縄県に行つての支援は

できませんでしたが、そのような中、安保破棄中央実行委員会からの呼びかけに答えて、全国の各組織が協力し、電話による指示拡大の活動を中心とした支援を行いました。安保破棄大阪実行委員会としても、今まで沖縄の選挙へ支援に行つていただいた方々を中心に呼びかけさせていただき、30人ほどの人が電話かけに協力してくださいました。

留守宅が多い中、朝夕と何度もかけなおしてくれたり、「まだ残っているテレデータがあったら送ってほしい」と積極的に連絡をくれたり、周りの人にも声をかけて一緒に電話かけをしてくれたり、様々な制限のある中

沖縄県統一連と安保破棄中央実行委員会が沖縄2紙へ掲載した「意見広告」

ではありませんが、多くの人が沖縄県議選が重要であるという強い思いを持ち、現地に行けなくても、沖縄連帯の意思を示し、支援活動を取り組むことができました。

県議選の結果は、定数48議席のうち、玉城県政25議席(共産党7、社民党4、社大党2、にむふあぶし1、立憲民主1、無所属10)を勝ち取り、過半数を維持することができました。

投票率は46・96%と、過去最低でしたが、コロナ禍に加え、投票日当日に一部地域では豪雨になるひどい荒天であったことから見ると、投票率の数字だけでは見えない、県民の意識の高さがあつたといえます。電話かけの中でも、「足が悪く歩けないけど、知人に車で投票所へ連れて行ってもらつて期日前投票をしてください」と言っている人もいました。また、期日前投票は選挙人名簿登録者数の19・38%、17万人以上の人が投票していて、過去最高でした。

5月24日には、「琉球新報」「沖縄タイムス」へ、「新型コロナウイルス感染収束へ県民の団結でのりこえましょう」「辺野古新基地ストップ・普天間基地の即時閉鎖撤去を」とする意見広告を、沖縄統一連と安保破棄中央実行委員会として掲載しました。この意見広告への賛同募金も各団体、個人の方々に協力してもらいました。

今回、電話かけにご協力いただいた皆さん、意見広告にご協力いただいた団体・個人の皆さんありがとうございます。

沖縄県民の民意を尊重しようとしめない安倍政権は、12日にも、辺野古工事を再開しようとしています。今後も一層、沖縄に連帯し、「辺野古新基地建設反対、普天間基地無条件撤去」の声を大阪でも大きく広げていくためにご協力お願いします。

身勝手な検察庁法改悪と強行採決は  
絶対に許さない  
民主主義破壊NO！安倍政権は国民の声を聴け！

# 5・22 緊急昼休み宣伝行動

会では見送られることになりましたが、安倍政権はその考えを根本的にはあらためようとしていません。

各弁士から、この問題がいかに三権分立をないがしろにした憲法違反であるかということ、安倍首相の政治私物化が極まっていること、コロナ禍のもとでこのような議論をすること自体のひどさなどがうったえられました。また、医療・介護現場で今、いかに職員が不安を抱えながら仕事をしているかということや、住むところも仕事も失ったという相談が寄せられていること、解雇や雇止めが急増している状況など、それぞれの分野での具体的な問題が示されました。

5月の23日宣伝行動は、国民大運動大

阪実行委員会と大阪憲法会議との合同で、検察庁法改悪と強行採決を許さない緊急宣伝行動として、5月22日（金）に取り組みました。新型コロナウイルス感染拡大防止の対策も行ったうえで、大阪安  
保、新婦人、民医連、民法協、大生連、大阪労連からの弁士によるうったえと、ビラ配布、プラスタールを掲げてのアピールを行いました。32人の参加でした。検察庁法改悪は、世論の大きな批判の声によって、今国

た。

6月の23日宣伝行動は、23日（火）の12時から淀屋橋で行います。この日は、現行の日米安保条約が発効してちょうど60年の日となります。

また、17日（水）には、「国会閉会日行動」を12時15分から淀屋橋で行います。可能な方はぜひご参加ください。

## 「日米安保条約・日米地位協定60年

## 6・23大阪のつどい」

### 開催のお知らせ

1952年に結ばれた日米安保条約（日本国とアメリカ合衆国との間の安全保障条約）は、その後1960年に、現在の日米安保条約（日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約）へと改定されました。この改定の動きに対して多くの国民によって空前の反対運動が行われました。しかし、当時の岸内閣は議会制民主主義を破壊し、強行採決しました。そして、6月23日に発効しました。その内容は、軍事だけでなく経済においても一層の対米従属を強いられる内容となっています。それ以降、一言一句変えられず、今年で60年となります。憲法と相反する「諸悪の根源」と言われる日米安保条約を廃棄することが、日本の真の独立を勝ち取り、憲法が活きる平和と民主主義を貫く日本を築くために不可欠です。

安保破棄大阪実行委員会では、毎月23日を中心として、「23日宣伝行動」を昼の12時より行っています。また、6月23日の前後には例年様々な取り組みも行ってきました。

今年も「日米安保条約・日米地位協定60年6・23大阪のつどい」を、6月23日に開催します。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、60人定員とさせていただきます。参加をお考えの方は、メール、ファックス等で、安保破棄大阪実行委員会までご連絡ください。

記

○日時：2020年6月23日（火）18時半～  
○会場：大阪国労会館・3階大会議室  
○講演：「日米安保60年  
『従属的同盟』からの脱却をめざして」  
↳コロナ後を見据えて

講師：小泉親司さん

（安保破棄中央実行委員会常任幹事・  
日本共産党基地対策委員会責任者）

※参加者の方には、マスクの着用をお願いします。

## 当面の予定

6月

17日（水）国会閉会日行動（12:15～淀屋橋）

18日（木）大阪市をよくする会「『都構想』中止！コロナ対策に集中を！」

個人請願署名提出行動（12:00～大阪市役所南側）

23日（火）大阪安保23定例宣伝（12:00～淀屋橋）

「日米安保条約・日米地位協定60年 6・23大阪のつどい」  
（18:30～大阪国労会館3階大会議室）

7月

1日（水）常任幹事会（10:00～大阪民医連）

22日（水）大阪安保23定例宣伝（12:00～淀屋橋）  
近畿安保合同会議（14:00～大阪安保）

8月

5日（水）常任幹事会（10:00～）

21日（金）大阪安保23定例宣伝（12:00～淀屋橋）

